



# ケア・カウンセリング 通信

vol.

48

発行：日本ケア・カウンセリング協会 <http://www.npojcca.org/> 協会郵便振込口座 00110-7-147466  
編集：〒112-0013 東京都文京区音羽1-6-8 音羽小峰マンションズ1階  
TEL&FAX:03-6912-2605 E-mail:npo-jcca@npojcca.org

2014年1月発行

## 非配偶者間人工授精における「出自を知る重要性」について

認定助講師 脇坂 三位子

2013年12月、最高裁は非配偶者間人工授精 (artificial insemination with donor's semen 以下AIDと記す) によって子をもうけた夫婦の、性同一性障害者の夫 (元女性) の訴えを認め、夫を父親と認めた。

どのような経緯で生まれたにしても、現に社会の中で4歳の子が成長しているのであるから、社会はその子を守ることを最優先しなくてはならない。父親が戸籍に「嫡出子」と記載されることにこだわったのも、我が子の将来を案じ、社会からも認められるようにしたかったのではないかと思われる。

この裁判で原告を支えた三上侑貴弁護士は「最高裁が下した判断は、愛する人たちと家族関係を築こうとしている人を社会が受け止めて行こう、という表明」とした上で、「立法や行政が何年も放置していた問題について、人権の砦である最高裁が出したメッセージとして、大きな意義がある」と、述べている。

しかし、裁判官5人中、大谷剛彦裁判長ら2人は、「特例法は性別変更した人の実子を想定していない」という理由で反対し、多数意見の「拡大解釈」に懸念を示した。このことは問題の本質を放置したまま、さらに拡大解釈が広がっていくことに対して、警鐘を鳴らしたのではないかと思われる。

一方、多数意見(3人)は、家族のあり方が多様化する中で家族としての社会的な実態を重視し、子どもの身分を安定させることを優先した結果であろう。

今回の判決が出たことで、今後、同性愛のカップルがAIDで子どもをもちたいと望む可能性が高まるかもしれない。さらに、AID自体が社会に広く認識される契機ともなるであろう。この小論では性同一性障害の問題にこだわらず、AIDにより子どもを持つことで起こりうる多くの問題点の中から、「出自を知る重要性」に絞って考えてみたい。

子どもを産めない人の苦しみは理解されなくてはならないし、子どもを授かることで得られる幸せは計り知れない。しかしAIDには多くの課題が残されていることを忘れてはならないと思う。

1949年、慶応義塾大学の安藤晝一教授のもとで、日本初のAID出産例が報告された。精子ドナーは医学生であったことが知られているが、どの子どもに誰の精子が使われたかは分かっていない。それから60年以上経過し、およそ1万5千人のAID児が誕生しているが、現在に至っても精子提供者は匿名であり、受ける側は一切の情報を求めないことを前提として治療が行われているという。そのため殆どの子どもは出自について隠されたまま成長して来たのである。

「命の誕生は神の領域」との声が上がっていても、AIDの流れは止まることなく、その子どもたちは増えて行くであろう。その命を前にして、私たちはどうすればよいか、何ができるか。

AIDは遺伝や病気のリスクが伴うことは言うまでもなく、子どものアイデンティティ形成にも強い影響がある。

私たちはこれらの問題に対して顔を背けることなく、理性と思慮深さをもって向き合わなくてはならない。また、AIDを希望するカップルには、十分に理解したうえで結論が出せるよう、丁寧なインフォームド・コンセントが必須であろう。

AIDは不妊のカップルに子をもたらし「善」なる技術として、深く議論されることもなく今日まで続いて来た。しかし、子どもを「つくる」ことに目が向くあまり、子ども自身の未来への想像力が欠けていたとの指摘がある。またそれは「命の誕生に第三者が関わる」ことへの警鐘ともなっている。

AIDの真の当事者は「見えざる当事者としての子ども」であるが、告知の問題において、親と子の考え方に大きな違いがある。親は子どもに良かれと思ってAIDを隠しておくが、子どもは自分のアイデンティティを知り、真実の中で生きていと切望している。親の病気や死、両親の離婚などの理由で、やむなく告知がなされたとき、子どもは秘密にしていた親への怒りと不信、そしてアイデンティティの揺らぎを体験する。親子間の重大な秘密が崩れ、それまでの家族関係が壊れてしまうことを危惧せざるを得ない。

当事者でない者に、AIDで生まれた事実、どこから来たのか分からない自分の半分を背負って人生を歩むことの厳しさを想像できるだろうか？AIDの子どもは親が亡くなったあともその事実を背負い続け、親になれば、またその子どもへと、空白の遺伝子がリスクを含んだまま世代間継承されるのである。

以下はAIDで生まれ、医学生の時に出自を知らされた当事者で、医師である加藤英明氏（自ら実名を公表）が報道番組のインタビューで語った内容である。

「自分がどこの誰だかわからない。闇に放り出されたような感じで、とにかく不安なんです。僕は本能的に父親を知りたいと思う。遺伝上の父親を探すことで、自分に欠けた半分の穴が埋められるかもしれないと。だから、親もまずAIDで生まれたことをきちんと伝えてほしい。さらに遺伝上の父親を探そうとすることができるようにしてほしいと考えています。これから生まれて来る子どもたちに同じ苦しみを味わって欲しくないから……」（歌代、2012）

慶応大学病院産婦人科の久慈直昭医師は、「ここ数年、（AID希望者で）子どもに話すつもりだという人が四分の一位に増え、看護師が時間をかけて話すと、半数くらいが告知を考えるようになった」と語っている。また、告知をすることを前提に「匿名ではない精子提供者」を求める人も出て来ているという。

その一方、2003年に厚労省の生殖補助医療部会は「出自を知る権利を認める」という答申を出しているが、未だ法制化には至っていない。

私たちは、すでにAIDで誕生している人たちの命への敬意と配慮をもって、当事者の意見に真摯に耳を傾けねばならない。その上で、AIDを偏見なしに受容できる社会を形成して行くことが、待たなしに求められていると思うのである。

#### <参考文献>

- 歌代幸子(2012).精子提供—父親を知らない子どもたち— 新潮社
- 最相葉月(2005).いのち—生命医学に言葉はあるか— 文芸春秋
- 竹内美穂(2006).提供精子・卵子・胚による生殖補助医療(ART)によって生まれた子の心理と社会的支援の在り方—非配偶者間人工授精(DI)児に焦点を当てて—  
安田賞 受賞論文
- 山折哲夫・中村桂子(2002).「いのち」についての60の手紙 産経新聞社
- 由井秀樹(2011).非配偶者間人工授精によって出生した人のライフストーリー  
立命館大学人間学研究,24.35-48

## 第14回 総会報告

東北エリア参事 根田 優美子

午後から行われた総会では、功労賞表彰と議案提出(予算・決算報告)、その他の報告がなされました。簡単に私として理解したのは「これからの研修は赤字になるような研修は出来ない」という事でした。確かに地方の研修は参加人数も少なくなってきたように思います。そのためにも色々な議案が出されこれからの各研修の実行に期待します。また、少しでもお手伝いできればと思います。

その為にもこれからのケア・カウンセリングの研修計画を幅広く会員および一般の人に情報提供をする必要性を強く感じました。

一人でも心動かされ、お金とは関係なくもっと知りたい勉強したいという人も中にはきっといることと確信します。

レクチャー・フォーラムは「ケア・カウンセリングと私」と言う題でグループワークが行われました。「どんな目的で今日ここに来たのか」「何でこの協会に居るのか」2~4名から8名グループで最終的には話し合いが行われました。

改めて総会に集まった人達の意見を聞く事が出来ました。そして自分にも聞き返していました。

総会は初めて参加する人も少なくはありません。初心者でも解りやすい総会、また、次回も参加してみようと思えるような内容をお願いしたく思いました。





## 日本ケア・カウンセリング協会 プレゼミに参加して

北海道エリア参事 工藤 和香子

2013年11月23日、日本ケア・カウンセリング協会のプレゼミがクロス・ウエーブ幕張で開催された。

「セルフ・エフィカシーと行動形成法」と題して行われたプレゼミは、前半のセルフ・エフィカシー（自己効力感）について、後半は行動形成法の理論編を行った。

前半—セルフ・エフィカシー（自己効力感）は、効力予期と結果予期の関係を言葉と他者によって構築されることや、時間と空間の中で学習を繰り返すことによって、出来なかったことが出来るようになっていった体験事例が紹介された。ここでは、ひとつの方向からしか見れないクライアントと、他方向から提案することの出来るセラピスト、そして、そこにクライアントを支えようとする他者の言葉と働きかけが、依存と信頼により、結果、出来た自分（クライアント）へ変化していった。それは、クライアントもセラピストもクライアントを支える他者にとっても、出来ないと言う過去のデーターを、出来る方法を使い、出来ると言う未来に繋がったことで感動し、共感、協感したのだと思った。セラピストは多くの言葉と環境の提案が出来なければならぬと改めて実感した。

後半—行動形成法理論編は、8人程度のグループを10チーム作り、前半の効力予期と結果予期を図式化し、行動形成法を説明していった。初めは言っている意味が良く解らない。うなづいて聞いてはいるが、自分の言葉に落ちてこなかった。しかし、グループで話をしていく中で、図式化された中に、言葉と他者の関係を入れながら話していくと、見えていなかった人間関係が見えてきた。「だから思わず浮かぶシーンが出てくるのか…」そのとき感じた。そして、「このシーンはリーダーが出来るだけ丁寧に本人の言葉で話せるように勧めていくことが大切なんだ」と感じた。

久しぶりのプレゼミだったが、いろいろな地域の方と話が出来、自分自身多くのことを改めて感じる事が出来た。また次回、息子を連れての小旅行気分を味わいながら、参加しようと思った。



# 総会議決報告

## 議案1

### 研修企画評価委員会の設置／収益性の向上管理の徹底

- 各研修企画に収益基準を明示して、本部および支部企画の研修事業の推進もしくは縮減を決定する。
- 各エリア支部の企画を定期事業型と随時事業型に分類する。  
定期型:支部が独自に年間計画を立て、基幹研修を実行する。  
(収益金への一定の自由裁量権を持つ)
  - 例:北海道エリア支部
  - 例:首都圏エリア支部(強化キャンペーン)随時型:本部との密接な連携の下、一般研修(公開講座、ワンデイ・セミナー)およびワークショップ等を開催する。
  - 例、東北エリア支部、首都圏エリア(群馬県支部)他。委託型:本部企画を、各地域の実行委員会を組織し、委託実行する。
  - 例、沖縄ワークショップ実行委員会

## 議案2

### 募集システムの改革／研修企画実行の分担

- ①各エリア支部で、「支部研修実施マニュアル」に従って、複数の企画実行グループが各研修毎の受講生募集を分担して行う。
- ②「支部研修実施マニュアル」は本部より基本版を提示し、各エリア支部毎にエリア版を作成し実施する。

## 議案3

### 在宅支援に関わるケア従事者サポート事業を、地域の団体と連携して展開する。(外部団体と連携する①)

- 地域の訪問看護ステーション他、関係団体等と連携を取り、訪問ケア、在宅ケア事業における研修およびスーパービジョン等のサポート活動を実施する。
- 講座修了のケア従事者で一定の資格要件を満たす者に、ケア・カウンセラー4級の書類審査を認める。

## 議案4

### 一般市民を対象とした「傾聴ボランティア講座」の展開を、地域の団体と連携して展開する。(外部団体と連携する②)

- 地域のNPO法人等と連携し、一般市民を対象とした「傾聴ボランティア」養成講座を企画実行する。
- 講座修了者に、「傾聴ボランティア」協会認定証を発行し、ケア・カウンセラー4級に誘導する(入会促進)。

## 議案5

### 「ケア・カウンセリング研究会」の登録推進と入会勧誘(受講生の組織化と会員誘導システムの構築)

- 受講生の組織化① 一般的ニーズ:(対人トラブルの心理学)の関西看護出版等の各講演会受講生を積極的に「研究会登録」を促し、協会研修に誘う。  
受講生の組織化② 専門的ニーズ:(行動形成法、看護教育、在宅支援、傾聴ボランティア、介護者応援プログラム等)の専門部門を開設し、非会員の組織化を介して入会を誘導する。

## 議案6

### 正会員の権利を拡充し、非会員との「差別化」を明確にする。

- 正会員のメリットを明確にする。
  - ①「ケア・カウンセラー」の情報宣伝を強化する。
  - ②研修費の正会員割引料金を明瞭にする。
  - ③正会員限定の研修プログラムを拡充する。
  - ④その他、正会員の権利拡充を図る。

## 議案7

### 協会外部の有識者との連携を強化する。

- 社会ネットワークを「活用」する。  
有識者を客員会員(顧問等)としてお招きし、専門知識の共有化と共に、協会の情報発信へのご協力をお願いする。

## 認定講師の研修システムの強化とその活用

- 認定講師群の内実を強化し、活躍の場を整備し、次世代リーダーの養成を図る。
- ① 認定助講師・認定講師補の評価審査システムを明確に整備し、その内実の強化向上を目指す。
    - 「認定講師管理規則」の設定。
  - ② 認定講師グループ(認定助講師、認定講師補)に活躍の場を設定する。
    - 認定講師グループを講師とする支部講座を設ける(正会員無料)。
  - ③ 次世代リーダーの養成を企図する為、認定講師養成奨学金を設ける。
    - 「ケア・カウンセリング・カレッジ」(認定講師及びケア・カウンセラー専門プログラム)

## 今年度決算書・次年度予算案

- \* 予算案、決算書は別紙

<b>総会への報告</b>
---------------

(以下、団体・個人とも敬称略)

## 横浜船員保険病院にて、「メンタル・ヘルス・サポート・システム」(MHSS)が開始されました。

- 神奈川県保土ヶ谷区にある横浜船員保険病院(看護スタッフ200名)で、行動形成法と個人カウンセリングとの統合システムであるメンタル・ヘルス・サポート・システム(MHSS)が、全看護スタッフを対象に開始されました。行動形成法と個人カウンセリングを統合した画期的なメンタル・ヘルスのプログラムです。今後、他の施設への普及を目指して、大いに注目される「事業モデル」のスタートとなりました。

## 協会顧問に、保坂 隆先生が就任されました。

- 保坂先生は慶応大学出身で、カルフォルニア大学留学後、東海大学医学部教授となられ、現在、聖路加国際病院精神腫瘍科医長、聖路加看護大学臨床教授でおいでです。我が国では数少ないがん患者を診る精神科医として、乳がん患者の集団精神療法を実践されています。先生には私たちの協会で行っている行動形成法にご関心を示され、その共同研究に携わっていただくと共に、このたび協会顧問にご就任いただきました。

- 2014年、保坂先生の協会顧問就任記念講演会を、東京林野会館にて開催いたします。

テーマ 「ケア従事者のメンタル・ヘルス」

講師 保坂 隆 先生 (指定討論者 品川博二)

会場 東京林野会館

日時 4月19日13時開場 13:30~15:50

- この講演会は、首都圏エリア支部のより活性化を目指して、多くの受講者に呼びかけを行います。

## 連携講座の展開

- ① NPO法人ライフサポート・ネットと連携し、医療・介護スタッフを対象とした「在宅支援セミナー」が北海道看護協会の後援を得て、札幌市で開始しました。今後、札幌市全体で、展開される予定です。
- ② NPO法人アロハートと連携し、柏市で「傾聴ボランティア養成講座」を開講しました。柏市広報を通して30名以上の熱心な市民が、ケア・カウンセリングの視点からの傾聴ボランティア講座に参加されました。受講生の要望により、ケア・カウンセラー4級を旨とした継続講座が企画されています。
- ③ 「さんむ医療と健康の会」と連携して、千葉県山武市で「ボランティア」講座が開催されました。品川講師の他、小川美智子認定助講師が派遣され好評を得ています。

**報告4****「ケア・カウンセリング研究会」の展開**

- 議案5の試行的実践。従来のメルマガ登録を積極的に「研究会」登録に再構成し、登録者への研修への情報宣伝の効率化と共に、受講意欲を触発する。
- 試行的に低廉な「研究会」活動として東京プログラムを開催する。

**報告5****関西看護出版との提携講座が再出発しました。**

- ケア・カウンセリング基礎講座が東京で開講しました。  
第一回は11/4東京林野会館にて64名の参加者が受講し、多くの方々が高い満足度を示されました。会員獲得の原点に戻って、今後の発展が見込まれます。

**報告6****ケア・カウンセリング協会表彰**

ケア・カウンセリング協会功労賞(各5万円)

- 団体 神奈川県支部(支部長:杉崎チヅ子さん)
  - 神奈川県におけるケア・カウンセリングの普及展開の功績。
- 個人 松平 統 氏(柏市民講座)
  - 最高齢のケア・カウンセラーとしての表彰。

**報告7****第1回認定講師評価審査会**

以下の9名が審査会の評価(追加審査を含む)を受け、資格更新を修了しました。

- <認定助講師> 小川美智子、脇坂三位子、福井敦子、村上則子
- <認定講師補> 東海知恵子、多部良子、相澤久美、須田ちひろ、小林信子(以上敬称略)

**報告8****以下の団体に協会認定講師およびスタッフを派遣しました。**

- 1 北海道看護協会、栃木県看護協会(新人看護職員研修)、岩手県看護協会(セカンドレベル)、宮城県看護協会、宮城県介護研修センター、千葉県社会福祉協議会、群馬県社会福祉協議会、袖ヶ浦市社会福祉協議会
- 2 千葉県自殺予防講演、山形県鶴岡市・酒田市「市民健康」講演会、
- 3 札幌学院大学(社会連携センター)、戸田中央看護専門学校、埼玉県高等看護学校教員会
- 4 横浜船員保険病院、赤穂市民病院、協立総合病院、
- 5 神奈川県介護福祉士協会、秦野市ホームヘルパー協会、千葉県茂原介護福祉施設長研修、千葉県野田保健センター、千葉県オストミー協会、神奈川県秦野市、岩手県宮古総合福祉センター、「小さなお星さまの会」
- 6 田中教育研究所、(公財)山口県ひとづくり財団、公益社団法人かながわ福祉サービス振興会、稚内市教育研究所、稚内市人権擁護委員会、
- 7 「沖縄がん心のケア研究会」沖縄「愛さん会」他

以上



# 会計監査報告書

## 平成24年度 特定非営利活動に係わる事業会計決算書

平成24年10月1日から平成25年9月30日まで

科 目	金額 (単位:円)	
I 収入の部		
1 会費収入		
正会員年会費	3,923,000	3,923,000
2 事業収入		
研修事業収入	8,342,330	
登録審査料	125,000	
登録料	60,000	
更新料	96,000	
書籍売上	282,895	
CD売上	28,500	
雑収入	655	
カウンセリング利益収入	4,000	8,939,380
3 特別収入		
総会参加費	337,000	
東北支援金収入	101	
三菱商事震災助成金	0	337,101
当期収入合計		13,199,481
前期繰越金		8,394,047
収入合計		21,593,528
II 支出の部		
1 事業費		
通信発行費	344,641	
研修事業経費	8,782,728	
書籍仕入高	353,100	
期首書籍等棚卸高	476,400	
期末書籍等棚卸高	△ 530,400	9,426,469
2 業務経費		
① 特別費		
総会開催費	326,567	
東北支援金からの支出費	0	
助成金からの支出費	1,802,848	2,129,415
② 事務局費		
地代家賃	600,000	
人件費	1,312,000	
法定福利費	11,207	
旅費交通費	107,460	
通信費	350,986	
事務用品費	109,146	
パソコン関係費	73,500	
支払手数料	9,480	
商標権償却費	87,384	
減価償却費	339,584	
外注費	209,830	
水道光熱費	162,017	
保険料	19,050	
ボランティア諸経費	24,000	
雑費	0	3,415,644
当期支出合計		14,971,528
当期収支差額		△ 1,772,047
次期繰越収支差額		6,622,000

## 平成24年度 特定非営利活動事業 財産目録

平成25年9月30日作成

科 目	金額 (単位:円)	
I 資産の部		
流動資産		
銀行預金	531,077	
郵便振替口座	15,749,093	
現金	144,414	
郵便貯金	1,817,837	
音羽事務所 敷金	225,000	
前払費用	75,000	
商品 (CD)	158,400	
商品 (書籍)	318,000	
仮払金	74,570	
器具備品	232,592	
商標権	346,474	
資産合計		19,672,457
II 負債の部		
未払金	2,089,594	
預り金	1,391,474	
源泉分預り金	1,240	
仮受金	1,940,871	
前受金	7,681,278	
負債合計		13,104,457
III 正味財産の部		
前期繰越正味財産	8,394,047	
当期正味財産増加額	△ 1,772,047	
正味財産合計		6,622,000
負債及び正味財産合計		19,726,457

## 平成25年度 特定非営利活動に係わる事業会計予算書

平成25年10月1日から平成26年9月30日まで

科 目	金額 (単位:円)		内 訳
I 収入の部			
1 会費収入			
正会員年会費	4,000,000	4,000,000	8000*500
2 事業収入			
研修事業収入	8,000,000		
登録審査料	80,000		5000*6+8000*5+10000*1
登録料	100,000		5000*20
更新料	60,000		3000*20
書籍売上	200,000		
雑収入	5,000	8,445,000	
3 特別収入			
総会参加費	350,000	350,000	5,000*70
当期収入合計		12,795,000	
前期繰越金		6,622,000	
収入合計		19,417,000	
II 支出の部			
1 事業費			
通信発行費	360,000		120,000*3
研修事業経費	8,000,000	8,360,000	
2 業務経費			
① 特別費			
総会開催費	350,000	350,000	
助成金からの支出費			
② 事務局費			
地代家賃	600,000		パート1人分
人件費	1,200,000		雇用保険ほか
法定福利費	15,000		
パソコン関係費	10,000		通勤費
旅費交通費	100,000		電話、郵便 宅急便
通信費	350,000		コピー用紙・封筒ほか
事務用品費	100,000		家財保険
保険料	19,050		税理士、ホームページ更新他
外注費	209,830		電気・水道代
水道光熱費	170,000		商標権取得費を10年で償却
商標権償却費	87,384		パソコン・プロジェクター償却
減価償却費	136,357		
支払手数料	20,000	3,037,621	
雑費	20,000		
当期支出合計		11,747,621	
当期収支差額		1,047,379	
次期繰越収支差額		7,669,379	

平成24年度における日本ケア・カウンセリング協会の会計監査を行った結果、適正かつ公正なる会計処理を行っていることを報告いたします。

平成25年11月24日

会計監査監事

脇坂 三位子



須田 ちひろ





# 2014年2-6月 ケア・カウンセリング研修予定

研修予定は変更の場合もあります。最新の情報はホームページでご確認ください。

日時	場所	課程	科目	研修名	会場	単位	参加費	申込 事前振込 締切
2月8日(土)13:00~16:00	丸亀	共通	選択	公開講座「相手の心を受け止める練習 ／ケア・カウンセリング入門」	丸亀市ひまわりセンター	2	¥2,000	1/31
2月9日(日)10:00~12:00	岡山	専門	実習	行動形成法セッション	岡山国際交流センター	4	¥4,000	1/31
2月9日(日)13:00~16:00	岡山	共通	選択	公開講座「半沢直樹の心理分析」	岡山国際交流センター	4	¥4,000	1/31
2月9日(日)13:00~16:00	東京	共通	選択	首都圏エアフォーラム (シェアリング・傾聴)(正会員のみ)	音羽協会本部	1	¥1,000	1/31
2月14日(金)10:00~17:00	千葉	共通	選択	「ひきこもり」の心理とその対処	千葉県社会福祉研修センター	9	¥9,000	2/7
2月15日(土)10:00~16:00	東京	共通	選択	ワンデイセミナー 「クレーマーの心理とその対処」	がんばれ!子供村	8	¥8,000	2/7
2月16日(日)10:00~16:00	東京	共通	選択	行動形成法コロキウム	がんばれ!子供村	8	¥8,000	2/7
2月19日(水)19:00~20:30	東京	専門	実習	セルフケース検討会	音羽協会本部	4	¥4,000	2/12
2月22日(土)10:00~15:00	盛岡	共通	選択	ワンデイセミナー「援助者に必要な 深層心理『半沢直樹を題材に』」	岩手県民会館 第三会議室	5	¥5,000	2/14
2月22日(土)15:00~16:30	盛岡	専門	実習	行動形成法セッション	岩手県民会館 第三会議室	2	¥2,000	2/14
2月23日(日)10:00~16:00	仙台	共通	選択	ワンデイセミナー 「クレーマーの心理とその対処」	徳洲会病院カンファレンスルーム2階	5	¥5,000	2/14
3月1日(土)15:00~ 2日(日)12:00	赤穂	共通	選択	行動形成法ワークショップ	かんぼの宿赤穂	14	¥29,000	2/21
3月9日(日)10:00~16:00	横浜	共通	選択	ワンデイセミナー 「クレーマーの心理とその対処」	ウイリング横浜	8	¥8,000	2/28
3月14日(金)18:30~20:30	札幌	共通	選択	対人トラブルは何故起こる!?	札幌学院大学社会連携センター	1	¥1,000	3/7
3月15日(土)10:00~16:00	札幌	共通	選択	ワンデイセミナー 「半沢直樹の心理分析」	札幌医大基礎医学研究棟5階会議室	6	¥6,000	3/7
3月15日(土)16:30~18:00	札幌	専門	実習	行動形成法セッション	札幌医大基礎医学研究棟5階会議室	4	¥4,000	3/7
3月16日(日)10:00~16:00	札幌	基礎	必修	基礎課程 初級II「対人関係の再構築 ／対話技術の腕を磨く」	札幌医大保健医療学部602号室	8	¥8,000	3/7
3月16日(日)13:00~16:00	東京	共通	選択	首都圏エアフォーラム (シェアリング・傾聴)(正会員のみ)	音羽協会本部	1	¥1,000	3/7
3月19日(水)19:00~20:30	東京	専門	実習	セルフケース検討会	音羽協会本部	4	¥4,000	3/12
3月21日(金・祝)10:00~12:00	大阪	共通	選択	年次大会	弁天町市民学習センター	2	無料	3/14
3月21日(金・祝)13:00~16:00	大阪	共通	選択	公開講座「ケア従事者に必要な傾聴の 意義とスキル」	弁天町市民学習センター	3	¥3,000	3/14
3月28日(金)10:00~17:00	千葉	共通	選択	「クレーマーの心理とその対処」	千葉県社会福祉研修センター	9	¥9,000	3/21
3月29日(土)10:00~16:00	東京	共通	選択	「行動形成法ナラティブ・アプローチ演習」	がんばれ!子供村	8	¥8,000	3/21
4月12日(土)10:00~16:00	仙台	共通	選択	ワンデイセミナー「行動形成法」	仙台青年文化センター第2研修室	5	¥5,000	4/4
4月12日(土)16:30~18:30	仙台	専門	実習	セルフケース検討会	仙台青年文化センター第2研修室	2	¥2,000	4/4
4月13日(日)10:00~16:00	盛岡	共通	選択	ターミナル・ケアの心理学/ 『百万回生きたねこ』の心理分析	岩手県公会堂	5	¥5,000	4/4
4月13日(日)16:30~18:30	盛岡	専門	実習	行動形成法セッション	岩手県公会堂	2	¥2,000	4/4
4月16日(水)19:00~20:30	東京	専門	実習	セルフケース検討会	音羽協会本部	4	¥4,000	4/9
4月19日(土)13:00~16:00	東京	共通	選択	公開講座 保坂先生顧問就任記念講演	東京林野会館	5	¥5,000	4/11
4月20日(日)13:00~16:00	東京	専門	選択	専門講座「寄り添い」の心理学~ 他者の<痛み>に関わるとは?	がんばれ!子供村	4	¥4,000	4/11
5月11日(日)10:00~16:00	横浜	共通	選択	「物語で結びなおす人間の絆」 ~ナラティブ・アプローチ入門	ウイリング横浜	5	¥5,000	5/2
5月18日(日)13:00~16:00	東京	専門	選択	専門講座「非配偶者間人工授精(AID) と出目を知る権利」	がんばれ!子供村	4	¥4,000	5/9
5月23日(金)18:30~20:30	札幌	共通	選択	親子関係離脱不全症候群	札幌学院大学社会連携センター	1	¥1,000	5/16
5月24日(土)10:00~16:00	札幌	共通	選択	ワンデイ・セミナー行動形成法	札幌医科大学(予定)	7	¥7,000	5/16
5月24日(土)16:30~18:00	札幌	専門	実習	セルフ・ケース検討会	札幌医科大学(予定)	2	¥2,000	5/16

日時	場所	課程	科目	研修名	会場	単位	参加費	申込 事前振込 締切
5月25日(日)10:00～16:00	札幌	共通	選択	基礎課程 初級③「心の葛藤」を癒す心理学 深層心理の痛みを知る	札幌医科大学(予定)	7	¥7,000	5/16
6月7日(土)10:00～16:00	仙台	共通	選択	ワンデイセミナー「新人看護職研修」	青年文化センター	5	¥5,000	5/30
6月7日(土)16:30～18:30	仙台	専門	実習	行動形成法セッション	青年文化センター	2	¥2,000	5/30
6月8日(日)10:00～16:00	盛岡	共通	選択	ワンデイセミナー「物語で結びなおす人間の絆」 ～ナラティブ・アプローチ入門	岩手県公会堂	5	¥5,000	5/30
6月15日(日)13:00～16:00	東京	専門	選択	専門講座 「セルフ・エフィカシーの心理学」	がんばれ!子供村	4	¥4,000	6/6
6月21日(土)10:00～16:00 6月22日(日)10:00～16:00	沖縄	共通	選択	行動形成法日帰りワークショップ (二日間通い方式)	沖縄船員会館	16	¥16,000	6/13

### ○連携講座 <柏市民講座(アロハート)>

日時	場所	課程	科目	研修名	会場
2月14日(木)13:00～15:00 3月20日(木)13:00～15:00 4月17日(木)13:00～15:00 5月8日(木)13:00～15:00 6月12日(木)13:00～15:00	千葉	共通	選択	柏ケア・カウンセリング講座	柏市中央公民館 (申込・お問い合わせは NPO法人アロハート 04-7149-8882)

## 事務局からのお知らせ

### 現在進呈されているチケット及びwebポイントの内容

- ① WEBで研修申込み⇒受講証を不要またはメールで受信すると1P進呈(正会員対象)
- ② WEBでチケット購入すると1P進呈(正会員対象)
- ③ 10Pたまると1,000円チケット進呈(正会員対象)
- ④ 非会員が会場で入会申込書を提出&年会費を支払うと3,000円チケット進呈(非会員対象)
- ⑤ 非会員が新人の方を連れてきた場合、双方に1,000円チケット進呈(非会員対象)

### 早期申込特典

4,000円以上の研修に早期申込みすると1,000円チケット進呈(正会員対象)

条件⇒2週間前までにweb申し込み・受講証をメールで受信・受講証不要・年会費自動振替完了・メルマガ登録完了。

※当日の研修には使用不可(次回以降の研修にご使用ください)

### 紹介割引について

正会員の方が、研修に非会員(初めての参加に限ります。)の方を連れてきた場合、双方の参加費が半額になります。

非会員の方の半額は初回1回のみ。

他の割引券との併用はできません。

研修申込の際に「紹介割引」の旨をかならず事前にお申し出ください。

(研修後の返金は原則できませんのでご注意ください。)

### メールマガジン登録のおすすめ

研修情報などの最新情報を毎週木曜日にシナダスのコメントと一緒にメールでお知らせする配信サービスを行っています。急遽会場変更・研修中止等も配信予定ですので、会員の方は必ずご登録ください。

登録無料です。

携帯電話からお名前・メルマガ希望とご入力いただき、協会アドレスへ送信してください。

またはQRコードにアクセスしてご登録ください。

PCからは<http://www.npojcca.org/mailmagazine.html> からどうぞ。

